

こんにちは 日本共産党県議団です

コロナ対策で、医療・検査対策の 万全な対応など要望

日本共産党長野県議団が知事に申し入れ

阿部知事に申し入れ書をわたす
毛利団長



日本共産党長野県議団は6月9日、阿部守一知事に新型コロナウイルス感染症対策など7項目の要望を申し入れました。

県議団はコロナ対策で▽救済措置の対象にならない事業者・農業者に早急な救済制度▽県市町村連携型の協力金支給▽長野県立大学の学生の授業料免除、減免▽内定取り消しの新卒者等の臨時採用▽病院の経営悪化に最大限の支援と「地域医療構想」見直し▽介護施設の支援を要望。また、米軍

機の危険な低空飛行の中止を県が求めるよう申し入れました。

毛利団長は「休業要請、休校のダメージで地域経済、暮らしが困難を極めている。第2波、第3波の医療・検査体制への万全な対応をお願いしたい」と訴えました。知事は「医療者の支援などをしっかり進めていきたい」と答えました。

要望事項に対し各課長からは、県市町村連携型の協力金について「担当職員の増員

を行った。一日も早い支給へ迅速な準備に努める」と答弁。

県立大学の授業料について、県側は国の就学支援制度を踏まえたうえで「国の第2次補正を受け、大学と連携し、いかなる支援ができるか検討していきたい」と回答。デイサービスの受け入れ制限等で介護崩壊が懸念される介護事業については「クラスターに備えて、人を応援する仕組みの構築を考えている」と答えました。

子どもたちや保護者の悩み、不安に対応を

県教育委員会と懇談

コロナ感染で休校になっていた学校の再開の前に、共産党県議団では教育委員会から方針の説明を受けて意見交換を行いました。

子どもたちが生活リズムを崩したりストレスを溜めている中で、学習の遅れの回復だけでなく、子どもたちや保護者の悩みや不安にしっかり寄り添う対応を求めました。

教育委員会は、普段よりいねいに子どもたちに接することや、詰め込みにならず心のケアが大事だと強調されました。

党県議団では、引き続き子どもたちの現状から出発した対応を求めていきます。



大北森林組合の 現場などを視察

補助金不正受給の問題発覚から5年が経った大北森林組合。今年度まで集中的に改革に取り組んでいます。

森林作業に携わる技能職員も一時はほとんどいなくなる事態もありましたが、立て直すために努力しているとのこと。

党県議団は組合事務所で懇談後、松枯れの山の現場も視察。急傾斜の現場で枯れた松を斬るのは技術がいる仕事で、伐採しても秋まで山から持ち出せないと説明されました。

